

花さき山

飯豊中学校第2学年通信
第 40 号
2024. 3. 12(水)
文責：布川涼子

3. 11 を覚えていよう。



Q. あなたは何を思いますか？

志田大雅さん

目の前で人が流されていったり、大切な人が亡くなってしまったり自分だったら、耐えられないことが、あの日起きていたことがわかった。その中でも人を助けようとしている人を見て、人のために動ける人のなりたと思った。沢山の命を救ってくれた自衛隊の人たちやテレビの人たちには、これからも感謝していかなければならないと思った。

鈴木紅蘭さん

改めて震災の映像を見て、大変だったなと思いました。私は全然覚えてない出来事だけど、被害にあった方は一生残る出来事だと思いました。14年たった今でも復興されていない場所があって、思い出したくなくても思い出してしまう現状が悲しいです。卒業式や当たり前の生活ができることに感謝していきたいと思いました。

勝見倅多さん

もし自分がその場にいたら大切な人とかもいた、と思って、急に家族とか友達とかがいなくなって、信じられない気持ちになってたろうと思った。映像の中でお墓の前で泣く人がうつっていたけど、大切な人が亡くなってしまったんだなと思いました。布川先生が用意した映像の中で残された命を大切にしていきたいみたいなことを言っていて、こんなつらいことがあったのに強い人だなと思いました。

山口瑛久さん

14年前の今日、生きたくても生きられなかった人たちがたくさんいたんだ、と分かりました。みんなの呼びかけやテレビの放送で、どれだけ必死だったのかが伝わってきた。

大谷部麗奈さん

絶対これからも忘れてはいけないと思った。自分がもし被害にあった立場だったら、耐えられないと思う。自分の大切な人がいなくなってしまったら、感謝とかを伝えられないので、これからも感謝を伝えていくことを大切にしたい。

3月に入ると、3.11の画像が頻繁にテレビの画面に流れます。14年たった今でも、見れば心がキュッと痛みます。今の二年生はちょうど生まれたか、生まれても一歳に満たないくらいの時ですから、皆さんが知っている『東日本大震災』がテレビの向こうで流れる世界は、別の世界の出来事なのかもしれません。

でも、日本に生まれて、なおかつ東北に生きる私たちなら、何もできなくても、『何が起きたのか知っておくべき』ではないかと、思うのです。

11日に、船山先生の提案で『3.11_東日本大震災_ONE OK ROCK「Be the light」』という動画を見ました。ONE OK ROCKのBGM中で、あの当時の画像が流れます。じっと見つめるその胸の中で、何を思ったでしょうか。そして、あの年、避難所になっていたある中学校で行われた卒業式のシーン。階上中学校では、あの地震の翌日、57名の卒業生が巣立つ予定でした。でも、3名の生徒の出席がかなわないままの挙行となってしまいました。その卒業式で、代表の生徒 梶原裕太さんは涙をこらえ、答辞を述べます。それを見て、皆さんは何を感じたでしょうか。この先も、思い返すことで、「生きたかった人たち」の遺志を受け継いでいきたいと思いました。